

燕市

2024 春夏

March 2024

新潟県燕市観光ガイド
本誌は
春夏号と秋冬号
年2回発行します

燕市の旬な情報をお届け

特集

少しずつ活気を見せてきている燕市。
子どもたちが毎日通う「遊びの場」もあれば、趣味を
共有するカフェラウンジもオープンした。
随所に「燕らしさ」漂う鍛金工房の隠れ家カフェも。
さあ、燕のニューカルチャーに触れる旅へ。

連載

燕産 「萬燈」
彩りハナトキめぐり 「八王寺の白藤」

特集

暖かくなってきたし、 燕のまちあるき 楽しみませんか？



MIYACHO

商店街をまちあるき 2つの複合施設が面白い



2024.3
OPEN

まちトープ

カフェにワークに 用途自由なみんなの居場所

「生き物が暮らす空間」という意味の「ピオトープ」と「まち」を組み合わせで名付けられた「machitope (マチトープ)」。誰でも利用できて、みんなの居場所になってもらいたいとスタートした。館内は縦にさまざまな空間が広がっている。図書館、シェアラウンジ、カフェカウンター、レンタルキッチンなど多彩な用途で利用可能だ。また、隣接するトレーラーハウスを自習室として開放。貸しスペースとしても使える。

燕市宮町 3001-11
090-2887-8308
(シマダデザインスタジオ)
10時～20時 (L.O)
ランチ 11時～14時
火 定休
@ machitope



2



4



3



5



1



8



9



7



6

1.6. 施設中央にあるラウンジ。普段はカフェやワークスペースに使えるほか、ヨガなどイベント利用もできる。2.3.4. フォカッチャと一緒に楽しめる盛りだくさんのランチプレートやオリジナルブレンドのハンドドリップなど。みんなの活動を支えるような「お供メニュー」を用意する。5. 「みんなの図書館 ぶくぶく」は一箱本棚オーナー制度で運営する民営の図書館。本の閲覧や貸出はもちろん、本棚オーナーになれば自分の本棚に好きな本を並べられる。7.8. 宮町の夜を彩ってきたカフェバー「美しい時間」。今秋のリニューアルまで間借り営業する。9. プロカメラマンが運営するレンタルキッチン。企業の商品撮影などを行うほか、料理教室や料理の仕込み場としても利用可能。

特集

暖かくなってきたし、
燕のまちあるき楽しみませんか？

イラスト / シマダサノリ

NAKAMACHI

2023.11
OPEN

フードバンクつばめ

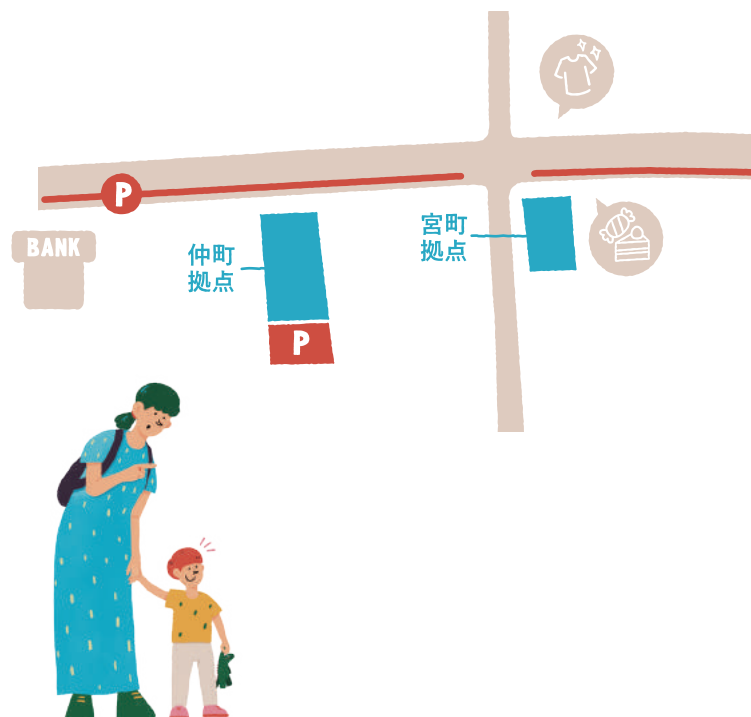
宮町拠点・仲町拠点

子供も大人も楽しめるコミュニティ 燕で暮らすファミリーを全面支援

こども食堂などの「食の支援」、無料塾や学用品提供などの「教育の支援」、放課後の遊び場や子育て相談も行う「交流の支援」など、多角的な支援事業を展開。宮町拠点の「宮町食堂」では、元イタリアンのシェフによる食堂メニューを楽しめる。仲町拠点には、卓球台やアーケードゲーム、駄菓子屋も併設する。新潟県では初となる24時間利用可能な食料支援システム（新潟コミュニティフリッジ）も導入している。

仲町拠点 燕市仲町3-10-1 0256-46-8805 11:00~18:00
月 定休 @nakamachi_tsubamebase

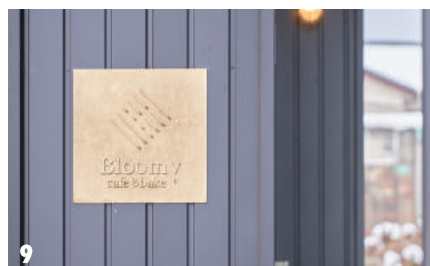
宮町拠点 燕市宮町5番1号1F 0256-46-0512 11:00~14:00、17:00~21:00
日 月 定休 @miyachoushokudou



1.生活用品や洋服などが多数並ぶ「物々交換スペース ZUPPEつばめ」。寄付するともらえるチケットで、欲しい商品と交換できる。2.仲町拠点内に新しくできる「喫茶すずらん」では定期的に子ども食堂を開催。3.4.子どもたちが自由に過ごせるスペースとして開放。放課後の新しい居場所として、たくさん子どもたちが利用している。5.中央の小上がりはイベントステージにもなる。寄席やミニライブ、映画上映なども企画する。6.企業や個人から寄付された食料品や日用品を受け取れる24時間営業のパントリーサービス。登録するとスマートキーを付与される。7.8.9.元イタリアンのシェフ小川さんが腕をふるう地域食堂。名物は、鶏むね肉を時間をかけて柔らかく仕込む「鶏天丼」。



鍛金工房の隣に カフェを見つけたよ



1. 元アトリエだった場所をカフェとしてリノベーション。窓側のカウンター席を含む8席。2. ハンドドリップコーヒー（500円）やエスプレッソダブルショットのカフェラテ（580円）。他にもメロンソーダなどドリンクも豊富に揃える。4.7.8. 写真は、イチゴのタルトやリンゴのクランベリーキャラメルチーズケーキなど。春はサクランボやサクラ味のスイーツを予定している。5. スイーツはすべて田中さん（右）が手がける。妹さんと二人で切り盛りしている。6.9. ハンドドリップで使用している鋳銅製のポットや店の看板など、「鍛工舎」代表の渡邊さんが制作した品を楽しむことができる。10. 絵本の販売やキッズチェアを備えるなど、子ども連れにも優しい。



2023.11
OPEN

ブルーミー カフェアンドベイク

Bloomy cafe&bake

旬の果実が咲き盛られる華やかなスイーツ

県内にある人気カフェのパティシエとして17年。がむしゃらに働いてきたという田中さん。お客さまとの時間を大切にしたい、ゆったりと過ごせる空間を作りたいと発起した。場所は、鍛金作品を世に出す「鍛工舎」の一角。少し喧騒から離れるエリアで、鉄を叩く音も小気味よく感じられる。ショーケースには、季節のフルーツを使ったタルトやチーズケーキ、全粒粉スコーン。華やかに盛り付けられたプレートを見た瞬間、心踊ること間違いなし。

燕市笈ヶ島4694-1

📍 bloomy_cafeandbake

11時～16時

問い合わせはDMから

日月木 定休

2023.6
OPEN

スポーツランド燕 スケートボード場

スケボーができる
公園があるみたい

新設パークで花見ライドもオススメ！

自然豊かな「スポーツランド燕」。体育館や屋内練習場、グラウンドではさまざまなスポーツを楽しむことができる。その一角に仲間入りしたのが「スケートボード場」だ。湾曲したアール壁やバンク、カーブ階段、丸レールなどさまざまなセクションを設置。子どもから大人まで楽しめる広場になっている。登録証とアームバンドが必要になるので、事前に申請してから遊ぼう。隠れた桜スポットでもあるので、花見ライドも気持ちよさそう！

燕市小牧837-1 0256-66-1800

9時～19時（日・祝は17時まで） 年末年始休業

利用無料 ※初回アームバンド購入料金が必要
（大人：1,000円、中学生以下：800円）



バンド装着

利用には登録とアームバンドが必要。登録証は年度更新。はじめにアームバンドを購入すれば、いつでも遊べる。アームバンドは小学生以下は白、中学生はオレンジ、高校生以上は黄色、同伴者は青。ヘルメットやプロテクター（肘・膝）着用が必須。

燕のお土産 たくさんあるよ



High Grade Store ハイグレードストア

3000点もの品揃えを誇る調理器具専門店

便利で丈夫かつ洗練された逸品をセレクトする。厨房を再現したショールームを併設。使用感を試せるため県内外のプロも足を運んでいる。コーヒースタンドで購入できるドリンクを片手に、ゆったりと買い物を楽しんで。

燕市杉柳912-1 0256-64-8125 10時～17時

日祝 定休 <https://kumaichi.co.jp/high-grade-store/>



ストックバスターズ 燕店

デッドストック&アウトレット品に出会える

旧モデルやパッケージ不良など、通常ルートでは販売できないデッドストックやアウトレット品がズラリ。商品は随時入れ替わるので、探し物に出会えたらラッキーだ。昨年販売開始したオリジナルフライパンも好評。

燕市物流センター2丁目16番地 0256-63-2511 10時～18時

不定休 <https://www.stockbusters.jp/>

「八王寺」の
白 藤



稲穂のような花
無数に咲き垂れる
縁起の庭木

八王寺の名の通り、昔は寺町としても栄えた燕市小池。現存する「安了寺」の境内には、大部分を占める白藤が鎮座する。辿れば、子孫繁栄や長寿、豊作を願う植樹。樹齢は400年近くに。県の文化財天然記念物にも指定された名木だ。5月の連休から2週間ほど見ごろが続く。満開時には、道路越しに香りを届けるほどのインパクト。水田とライトアップが重なれば、美しい「逆さ藤」も楽しめる。花弁が散り始めると、白銀世界のように檣下を白く染め上げる。何度も訪れたい市屈指の縁起スポットだ。

燕市八王寺962番地
ライトアップは4月下旬から予定
(9時30分まで)

「FOOD&FLOWER Fun!」の

プリン エディブルフラワー付き 660 円

両親が築いた「花屋」と「洋食屋」を兄弟で支える人気カフェ。定番は「プリン」。赤玉卵と生クリームで濃厚でむっちりとした食感に。洋酒の華やかさ、別添えのコーヒー粉でほろ苦さも一緒に楽しんで。

FOOD&FLOWER Fun!

燕市大曲 2655-1

0256-47-0908

10 時～21 時 30 分

木 定休



旅の
おとも
おやつ

おでかけに
おいしいグルメ
かかせません



第 2 回

燕戸隠神社春季例大祭「大名行列」

萬燈 (まんどう)

萬の灯火をもって暮らしを明るく照らす
地元を盛り上げたいと願った伝統行事



「木場小路萬燈」と「横町萬燈」の2組が、計12班に別れて各所を練り歩く。それぞれ山車のカタチや衣装、踊りも少しずつ違うので、見比べるのも祭りの醍醐味。

残る文献からの推察では、今から200年前。地元を盛り上げたいとする、商人や職人達は江戸や京都、三重に遠征した。祇園の山車、伊勢音頭などに感銘を受けて土産としたものが萬燈の原型とされる。子から子へ脈々と受け継ぎ、今では祭礼の大名行列の一端として、長く愛されている。街頭踊りが始まると、若連中が「萬燈」と呼ばれる山車を引きながら練り歩き、「金棒(用心棒)」、「お玉(踊り子)」と呼ばれる少年少女を伴って各宅へ訪問。木遣音頭や伊勢音頭を唄い、お玉が踊りを披露する。締めくくりは参道を駆け上がり、社殿へ舞い込み、無事に終えられたことへ感謝を伝える。「お玉」の可愛らしい踊り、熱気漂う若連中たちの気迫など見どころ満載。地元愛が爆発する2日間を体感して。

戸隠神社春季祭礼

5.18 宵宮祭

17時～21時40分

街頭踊り

戸隠神社参道にて踊り奉納

5.19 大祭

9時～20時

街頭踊り

舞い込み

※木場小路萬燈と横町萬燈で開催場所、時間が異なる。



ツ
サ
バ
メ

燕産

著名人や特産、カルチャーも
燕から産まれたあれこれのお話